

勢きおい

獅し

子し

江戸の三大祭の一つ、山王祭の御神酒所へ意頭や芸者たちなど、江戸を代表する粋な連中が勢揃いして、代わるがわる様々な趣向の踊りを威勢よく披露していきます。美男美女が居並び、江戸の情緒を存分に見せつつ、華やかに浅草公会堂の公演を打ち出します。

棒ぼう

し

ば

り

狂言「棒縛」を題材にした松羽目物と呼ばれる舞踊劇。主人曾根松兵衛に仕える次郎冠者と太郎冠者は無類の酒好き。松兵衛は、自分の留守中に大切な酒を飲んでしまわないように、次郎冠者と太郎冠者を縛りあげて出かけていきます。まんまと主人にしてやられた二人ですが、どうしても酒が飲みたいと酒蔵に忍び込むと……。縛られて自由が利かない状態で何とかお酒を飲もうとするおかしみや、上機嫌で踊る二人の姿をお楽しみください。

双ふたつ

蝶ちょう

々ちよう

曲輪日記くるわにっき

八幡の里引窓の場

義理に絡まれ、やむを得ず人を殺めてしまった濡髪長五郎は、実母のお幸を訪ねて八幡の里にやってきました。お幸は濡髪を養子に出したあと、この里の代官の家に後妻として嫁いでいました。頃しも中秋の名月を明日に控え、放生会の準備をしていたお幸は、濡髪との再会を喜びます。そこへお幸の継子南与兵衛が、立派な侍に取り立てられて帰ってきました。お幸は嫁のお早とともに与兵衛の出世を喜びますが、与兵衛に与えられた初仕事は、人殺しで手配のかかる濡髪を召し捕ることでした……。実子への愛情と継子への義理の間で葛藤するお幸、それを察する与兵衛とお早、そして濡髪。四人の情愛に満ちた心の機微を、引窓(月光を室内に入れるための明り取りの窓)を用いて象徴的に描く、義太夫狂言を代表する名作のひとつです。

国立劇場は昭和四十五年から歌舞伎俳優の研修を実施してまいりました。現在までに二十八期の修了者を送り出し、数多くの俳優が歌舞伎の世界で活躍しています。国立劇場の研修修了者により発足した「稚魚の会」、そして幹部俳優に直接入門した名題、名題下俳優を中心とする「歌舞伎会」の両会は、日頃の修練の成果を発揮する場として、毎年八月に、合同公演を開催しております。今年で三十一回目を迎えます。

半蔵門の国立劇場の再整備による閉場に伴い、昨年初めて浅草公会堂ホールに会場を移しての開催となりましたが、多くのファンの皆様による変わらぬご支援の下、盛況のうちに上演することができました。今年の夏も、昨年に引き続き浅草公会堂にて、若手俳優たちの熱気に満ちた舞台をお届けいたします！

10月1日より研修生募集開始！ 令和8年度開講生

国立劇場養成所では、伝統芸能を未来へつなぐ若者を募集しています。

- ・歌舞伎俳優
- ・歌舞伎音楽(長唄)
- ・能楽(三役)
- ・文楽

受講料無料・奨励費貸与制度有・宿舎有(審査有・有料)

お問合せ: 国立劇場養成所 TEL 03(3265)7105

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>



浅草公会堂ホール Asakusa Public Hall

- 東京外口銀座線 浅草駅(1番・3番出口) 徒歩5分
- 都営浅草線 浅草駅(A4出口) 徒歩7分
- 東武鉄道 浅草駅(北口) 徒歩5分
- つくばエクスプレス 浅草駅(A1出口) 徒歩3分

国立劇場養成所
歌舞伎



伝統芸能を未来につなぐ くろごちゃんファンド(国立劇場基金)

～国立劇場各館の事業に 皆様のご支援をお願いいたします～

お問合せは▶ 03(3265)6719 くろごちゃんファンド 検索

明日を担う伝承者の
養成を共に支える

国立劇場養成所サポーター募集中

継続的なご寄附によって、研修生たちの成長をご支援いただく「サポーター」の皆様を募集しています。

お問合せ: 国立劇場養成所 TEL 03(3265)7105

コース一覧	
一般会員A	月額 1,000円/月
一般会員B	月額 3,000円/月
賛助会員	月額 10,000円/月



(詳しくはこちら)